

1. 科目名（単位数）	心理学的支援法（演習）	3. 科目番号	PSMP3151
2. 授業担当教員	古谷 大樹		
4. 授業形態	グループ発表、ディスカッション、体験学習（ロールプレイなど）	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	臨床心理学や心理学支援法(基礎)を履修済みであることが望ましい。		
7. 講義概要	心理学的支援法とは、何らかの援助を求める人(クライアント)に対して、行動変容を目的として、言語的・非言語的なコミュニケーションを道具として援助しようとする試みのことであると考えられがちである。しかし現代社会においては、心理援助を行う者の心構えは（カウンセリング・マインドと言われる）、対クライアントのみならず、地域支援やクライアント関係者、また大学での友人関係や部活動並びに職場や家庭においても「お互いに支えあう人間関係」を築く上で、重要な考え方とあり方を示唆している。そこで、本演習では、カウンセリングの理論と技法を学ぶと共に、より広く訪問支援や地域支援、クライアント関係者支援などの援助についても学び、自分の日常のコミュニケーションのあり方を振り返りながら、相手に寄り添うより適切な援助法を身に付ける。また、守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮も学ぶ。		
8. 学習目標	1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めるのか、その背景や理由が理解できる。 2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法（論理療法）を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。 3. 対クライアント以外の援助技術(訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等)について理解できる。 4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。 5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。		
9. アサシメント（宿題）及びレポート課題	毎回の授業の内容を日常生活でも試すことを求める。 レポート課題についての詳細は、講義内で説明する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】講義は配布資料に基づき進めるため無し。 【参考書】矢澤美香子（編）『基礎から学ぶ心理療法』 ナカニシヤ出版 2018 福原真知子（監修）『マイクロカウンセリング技法―事例場面から学ぶ』 風間書房 2007		
11. 成績評価の基準と評価の方法	○成績評価の基準 1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めるのか、その背景や理由が理解できる。 2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法（論理療法）を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。 3. 対クライアント以外の援助技術(訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等)について理解できる。 4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。 5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。 ○評価の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 授業への参加(出席、態度、発言) 50% レポート・発表・確認テスト 50% 以上で評価を行う。		
12. 受講生へのメッセージ	マイクロカウンセリングの学習・演習を通して、心理的支援の基本的な態度・方法を学び、その後行動療法や認知行動療法などの心理療法の演習を行う。演習がメインの講義となるので、積極的な講義への参加が求められる。また、授業ごとに演習についてのグループディスカッションも実施するため、演習は真剣に取り組んでください。		
13. オフィスアワー	初回の講義内で説明する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション マイクロカウンセリングとは	事前学習	マイクロカウンセリングについて調べてくる。
		事後学習	配布資料を復習する。
第2回	かかわり行動	事前学習	かかわり行動の概要を確認する。
		事後学習	配布資料を復習する。
第3回	基本的傾聴の連鎖	事前学習	基本的傾聴の概要を確認する。
		事後学習	配布資料を復習する。
第4回	5段階の面接構造	事前学習	5段階の面接構造の概要を確認する。
		事後学習	配布資料を復習する。
第5回	対決・焦点のあてかた・意味の反映	事前学習	対決・焦点のあてかた・意味の反映を確認する。
		事後学習	配布資料を復習する。
第6回	積極技法	事前学習	積極技法の概要を確認する。
		事後学習	配布資料を復習する。

第 7 回	技法の統合	事前学習	技法の統合の概要を確認する。
		事後学習	配布資料を復習する。
第 8 回	マイクロカウンセリングまとめ	事前学習	今までの配布資料を読み返す。
		事後学習	配布資料を復習する。レポートを作成する。
第 9 回	来談者中心療法・精神分析	事前学習	来談者中心療法・精神分析について調べる。
		事後学習	配布資料を復習する。
第 1 0 回	行動療法：レスポンドント行動	事前学習	行動分析学におけるレスポンドント行動について事前に調べておく。
		事後学習	配布資料を復習する。
第 1 1 回	行動療法：オペラント行動	事前学習	行動分析学におけるオペラント行動について事前に調べておく。
		事後学習	配布資料を復習する。
第 1 2 回	認知行動療法：第 2 世代	事前学習	認知行動療法第 2 世代について調べておく。
		事後学習	配布資料を復習する。
第 1 3 回	認知行動療法：第 3 世代	事前学習	認知行動療法第 3 世代について調べておく。
		事後学習	配布資料を復習する。
第 1 4 回	演習	事前学習	今までの心理療法を復習しておく
		事後学習	配布資料を復習する。
第 1 5 回	まとめ	事前学習	今までの配布資料を読み返す。
		事後学習	配布資料を復習する。レポートを作成する。